

(2026年 徳島県公立入試 類似)

4. 長野県

(2024年 群馬県公立入試 類似)

4. 観光客数は1978年の約140万人から2018年には約1000万人に達しており、観光客数の増加に連動して観光収入も大きく拡大した。

福井県公立入試 類似)

4. 地表の土壌が非常に硬く掘削が困難なため、遠方の河川から「疎水」と呼ばれる長い水路を引いて水を確保した。

(2023年 岡山県公立入試 類似)

4. 人口の流出が激しく面積あたりの人口が減少しているため、過疎化対策が必要である。

東京都公立入試 類似)

4. 火山群の周辺には多くの温泉が点在し、国立公園としての景観を活かした観光業が盛んである。

(2024年 熊本県公立入試 類似)

4. 自動車などの輸送用機械の出荷額が、鉄鋼の増加額を下回るわずかな伸びに留まったため。

(2019年 山形県公立入試 類似)

4. 京浜工業地帯

(2020年 静岡県公立入試 類似)

4. 暖かい気候を活かして成長を早める促成栽培により、競争相手が少ない時期に出荷している。

(2018年 沖縄県公立入試 類似)

4. 那覇市は観光開発によって一時的な滞在者が増えており、豊見城市は農業を中心とした自給自足的な地域である。

(2025年 愛知県公立入試 類似)

4. 熊本県・徳島県

(2020年 静岡県公立入試 類似)

4. 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。

類似)

4. 地力の消耗を抑えるために、特定の季節には作物を植えずに土地を休ませる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 熊本県	九州地方の熊本県は、阿蘇の外輪山麓や平野部、干拓地などを活用した農業が行われています。全国屈指の農業産出額を誇っており、トマトなどをはじめとする野菜の生産額が特に多いことが特徴です。
問2	答え 4 観光客数は1978年の約140万人から2018年には約1000万人に達しており、観光客数の増加に連動して観光収入も大きく拡大した。	1978年から2018年にかけての統計を見ると、沖縄を訪れる観光客数は約7倍強（140万人から約1000万人）に増加しており、これに伴って観光収入も右肩上がりの推移を見せています。選択肢にある「8倍以上の増加」は、 $1000 \div 140 \approx 7.14$ 倍であることから統計上の事実とは言えません。この観光産業の成長により、沖縄県はサービス業を中心とした第3次産業が経済の柱となっています。
問3	答え 1 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいいため、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。	シラスは火山灰などの噴出物が積み重なってできた土壌であり、非常に水を通しやすい性質を持っています。台地の上では水がすぐに地下へ抜けてしまうため、古くから水不足に悩まされてきました。この問題を解決するために、鹿児島県の一部地域では60メートルを超えるような深い垂直の井戸を掘り、地下深くの帯水層から水を汲み上げる工夫がなされました。これは、関東地方の火山灰土である関東ローム層とは異なる、シラス特有の堆積の厚さと性質に起因するものです。
問4	答え 1 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。	福岡市の特徴は、県全体に占める面積の割合に対して、人口の割合が圧倒的に大きい点にあります。この数値の乖離は、県内の人や経済活動、行政機能などが福岡市という限られた範囲に極度に集中していることを示しています。その結果として高い人口密度が形成されており、九州地方における地方中枢都市としての機能を果たしています。
問5	答え 4 火山群の周辺には多くの温泉が点在し、国立公園としての景観を活かした観光業が盛んである。	阿蘇山周辺は火山活動の影響により、多くの温泉地が形成されており、阿蘇くじゅう国立公園として観光資源になっています。香川県などで見られる「ため池」や、北陸地方などで見られる「日本海側の降雪」は熊本県の特徴とは一致しません。また、干拓は有明海沿岸で見られますが、県全体の自然環境の説明としては火山の恩恵である温泉や景観がより適当です。
問6	答え 1 製造品出荷額の合計が、鉄鋼の伸びを大きく上回る5倍以上の規模にまで増加したため。	福岡県の鉄鋼の出荷額自体は1970年から2020年の間に約2倍に増えていますが、県全体の製造品出荷額の合計が約1.8兆円から約9.9兆円へと5倍以上に急増しました。これは輸送用機械（自動車）などの他の分野がより大きく成長したことを意味しており、分母となる全体額が大幅に増えたことで、相対的な数値である鉄鋼の「割合」は低下する結果となりました。
問7	答え 3 北九州工業地帯	北九州工業地帯は、中京工業地帯（約54.6兆円）や阪神工業地帯（約31.0兆円）などの他の四大工業地帯と比較して、出荷額の規模が最も小さいことが統計上の特徴です。産業構成では、歴史的な背景から金属工業のイメージが強いものの、現代のデータでは機械工業が最大の割合を占めており、次いで金属、食品品の順になっています。この構成比と総額の規模感から判断することが求められます。
問8	答え 4 暖かい気候を活かして成長を早める促成栽培により、競争相手が少ない時期に出荷している。	宮崎平野などで見られるピーマンの生産は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した促成栽培の典型例です。市場における価格の変動（入荷量が少なく価格が上がる）という仕組みを利用し、ビニールハウス等で時期を早めて生産することで、経済的な優位性を確保しています。これに対し、夏でも涼しい高冷地などで時期を遅らせる栽培方法は抑制栽培と呼ばれ、長野県のレタスなどが有名です。
問9	答え 3 那覇市は行政や経済の中心地としての役割が強く、豊見城市是那覇市へ通う人々の住宅都市としての側面が強い。	昼夜間人口比率が100%を超える都市は、周辺地域から労働力や学生を吸収する「吸い出し」の力が強い都市中心部であることを示します。那覇市はその代表例です。対して、比率が100%を下回る豊見城市などは、夜間に眠る場所としての機能が高い「ベッドタウン」としての性格を反映しています。このような人口の移動は、交通網の発達や都市機能の集中、郊外の宅地開発といった地域構造の変化と密接に関連しています。
問10	答え 2 福岡県・鹿児島県	宮崎県は九州地方に分類されます。選択肢のうち、福岡県と鹿児島県はいずれも宮崎県と同じ九州地方に属する県です。愛媛県、香川県、広島県、岡山県、徳島県は中国・四国地方に分類されるため、宮崎県とは異なる地方区分となります。このように地方区分を理解することは、日本全体の地域的特徴を把握する上での基本となります。
問11	答え 4 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。	大分県は、九州の北東部に瀬戸内海に面する位置にあります。日本有数の温泉資源は火山帯の影響によるものであり、これを利用した観光業や地熱発電などは地域の重要な特色となっています。選択肢にある重化学工業は主に福岡県、阿蘇山や広大な畑作は熊本県、促成栽培は宮崎県の特徴です。
問12	答え 2 限られた耕地を1年を通じて有効に活用し、異なる農産物を組み合わせる生産する。	二毛作は、1つの土地を休ませることなく1年中有効に活用するための工夫です。日本の伝統的な二毛作では、夏に米、冬から春にかけて麦を育てることで、主食の確保と土地利用の効率化を両立してきました。選択肢にある「同じ種類の作物を年に2回」収穫するのは二期作、「収穫時期を早める」のは促成栽培の説明です。